



南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成26年9月30日

校長 福田 俊彦

秋を楽しむ

校長 福田 俊彦

子供たちが創り上げた運動会には、多数のご来賓、保護者の皆様にご臨席をいただきました。ありがとうございました。運動会1週間前、子供には次の話をしました。「みなさんの応援団長の言葉です。『応援団の6年生としてみんなをまとめる姿を家族に見てもらいたい。』『自分の声でみんなをひとつにして応援をしたい。』しっかりと目標をもって応援団長になっています。みなさんも自分の目標をもう一度見つめ運動会に向かっていきましょう。」子供の姿を見ていると、先週よりも今週の成長を、昨日よりも今日の成長を感じます。活動を通して心が触れ合う体験があるからでしょう。自分たちの運動会であるという気持ちの高まりがあるからでしょう。このことを子供の自信としていきます。今後とも、南町小学校の子供をみんなの子供として見守っていただけますようお願いをいたします。

さて、秋は運動ばかりでなく、「学習の秋」「読書の秋」「味覚の秋」など、過ごしやすさを伝える言葉を思い起こします。何事にもじっくりと取り組むのにいい季節ということでしょう。子供たちには、今年度も本に接してもらいたいと強く思っています。本に親しむきっかけはいろいろあるでしょう。学校でもそのきっかけを創っていきます。全校朝会では、「みなさんは、これまでに何冊ぐらいの本を読んだでしょうか。あの本は楽しかった、おもしろかったと言える本は何冊あるでしょうか。本からいろいろなことを学ぶことができます。本に書かれていることについて考えることもできます。いつも自分の身近に読みかけの本を置いておく習慣を身につけましょう。」という話をします。

ご来校の際は、学校の図書室をお訪ねください。図書室に入る前から本に気持ちが向くような環境を創っています。本の並び方をご覧ください。読みたいなと思わせる工夫をすることができます。ある日、新しく届いた本を展示する機会がありました。どんな本なのか、短い言葉で表現されているカードが添えてありました。図書室に来る子供たちが増え、本について言葉を交わしていました。同じ空間で、仲間とともに、本について会話をしている子供の姿を想像してください。素敵な時間に思えました。図書委員会では、読書に親しめるようにどのような活動をするのか話し合う予定です。どんな活動が展開されるか楽しみにしています。子供たちには、これまでの自分の読書を振り返り、本と向き合う時間を大切にしてほしいと願っています。ご家庭でも読書について、ひとつの話題としていただければ幸いです。